

## 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構運営委員会（第66回）議事要旨

1 日 時 令和5年9月22日（金）10：00 ～ 10：42

2 場 所 WEB会議

3 出席者 石井、磯部、井田、蔵川、小林、渋井、杉山、高橋（哲）、戸田山、中野、新田、  
光田、宮崎、森、山本、吉川の各運営委員  
（川嶋、岸本、高橋（真）の各運営委員は委任状提出）  
福田機構長、光石理事、絹笠理事、小笠原監事、柴監事、森山審議役、佐藤審議役、  
阿部管理部長、吉田評価事業部長、上原大学連携・支援部長、梶原助成事業部長、  
高比良調査役、廣瀬参事役ほか機構関係者

4 運営委員会（第65回）議事要旨について

令和5年3月15日に開催された運営委員会（第65回）議事要旨（案）が確認され、確定版として了承された。

5 議 事

《審議事項》

（1）名誉教授の称号の授与について

名誉教授の称号の授与について審議が行われ、原案どおり承認された。

なお、本件は評議員会に諮ることとされた。また、今後修正の必要が生じた場合は、機構長に一任することとされた。

（2）教員の選考について

①教員の採用に係る選考について、②教員の昇任に係る選考について、③教員の再任について審議が行われ、原案どおり承認された。

《報告事項》

（1）各種委員会委員等の選考について

①学位審査会専門委員、②大学機関別認証評価委員会専門委員、③法科大学院認証評価委員会委員、専門委員、④国立大学教育研究評価委員会委員の選考について、会長一任による追加発令があったことの報告があった。

（2）第5期中期目標期間における調査研究の計画について

第5期中期目標期間における調査研究の計画について報告があった。主な意見は以下のとおり。

（○：運営委員、●：事務局、以下同じ）

○ 調査研究の3本目の柱として情報処理に関する調査研究を独立させたということだが、ここでい

う情報には生成A I やデジタルに関することは含まれているのか。

- 生成A I については、研究テーマの一つとして掲げていく予定である。特に学位授与事業において重要な研究テーマになると感じている。ただし、情報分野では日進月歩で新しい課題が生じるため、それに機敏に対応するためにも、中期目標・中期計画には特定の文言は使用しない整理としている。
- 国際の連携について、文言としては削除されているが、今後、国を越えて連携していくところも増えていくので、文部科学省とも連携して良い取組を進めていただきたい。
- 情報分析に関する調査研究の記載に「高等教育情報の提供に関する社会の要請に的確に応える情報分析の方法や活用方策について調査研究を行う」とあり、かなり幅広い話となっているが、国立情報学研究所が行っていることとの切り分けは問題ないか。
- 中期計画（素案）に掲げている情報基盤や情報分析といった表現は、かなり汎用的なものなので、情報一般の開発研究をしているところと重なる部分が多いと思われる。当機構の研究開発部が行う研究としては、高等教育関係の情報をどのように活用していくかがメインテーマになるというところで差異化が図られると考えている。必要に応じて、国立情報学研究所とも協力しながら行っていきたいと考えている。

## 6 その他

次回の運営委員会については、後日事務局より連絡することとされた。

以上